

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
5	高齢者の生きがいづくり事業の充実	健康福祉部高齢者支援課

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	高齢者の知識及び経験を生かし、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、高齢期の生活を豊かなものとするとともに、生き生きとした高齢者社会の実現を目指すための事業を実施する。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業の概要	事業の概要	
	福祉会館・老人福祉センターにおける健康相談、機能回復訓練・健康体操や各種教室・講座の事業の他にサークル活動等の場と機会の提供を行っている。 平成20年度からは健康体操、各種教室、講座など、事業の一部を社会福祉協議会に委託して実施している。 <事業費内訳> 高齢者生きがい推進事業管理委託料 47,689千円  対 象:市内在住の60歳以上の方 費用負担:無料 ・高齢者大学(総合過程、単科講座) ・健康体操教室、各種教室 ・高齢者福祉大会など	市内2か所のゲートボール場(東伏見・東町)について、老人クラブ等の登録団体へ無料開放しており、市では樹木の剪定、除草、修繕等の維持管理などを行っている。  <事業費内訳> ・消耗品費、光熱水費、修繕料 152千円 ・ゲートボール場除草等委託料 682千円	
事業開始時期	合併以前	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)			78,118	47,732	48,977
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円	29,691	15,333	23,811	19,431
	地方債					
	その他 (地域福祉基金繰入金)		10,000	7,000	2,000	2,000
	一般財源		38,427	25,399	23,166	27,092
所要人員(B)	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,822	3,729	3,831	3,959	
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0	
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	81,940	51,461	52,808	52,482	
単位当たりコスト(E)=(D)/ (各種講座・教室実施回数)	千円	62	27	29	-	

評価指標	指標名	単位	27年度	28年度	29年度	30年度
	①各種講座・教室参加延べ人数	実績値 人	43,573	55,612	50,301	
	②各種講座・教室実施回数	実績値 回	1,326	1,897	1,849	
《指標とした数値変化に対する要因分析など》 毎年度、各種講座・教室の運営方法を工夫し、実施回数や参加者の受入れ人数の拡大を図っている。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市内在住の60歳以上を対象としているが、65歳未満の参加者が少ない。平成30年度より、新規参加者の受け入れを進めるため、希望者多数の場合には新規参加者を優先するなど見直しを図っている。(社会福祉協議会)				
	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	平成28年度に東京都内の自治体において、福祉会館で健康体操を実施している区市町村(18区、18市)に対し調査したところ、4区、6市で参加費用を徴収していた。本市は無料での実施としていることからサービス水準は高いといえる。			
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	一般介護予防事業として、運動器の機能向上講座等の開催があるが、参加人数が限られている。			

**【一次評価】**

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	普通	緊急性はないが、継続して実施することが望ましい。
事業の必要性	高い	地域における介護予防の拠点として、継続して実施する必要がある。
実施主体の妥当性	課題有	市民を主体とした事業展開も検討する必要がある。
事業(補助)の対象	課題有	60歳以上の市民を対象としているが、65歳未満の参加が少ない。
事業(補助)の内容	適正	メニューを幅広く提供できる運営体制となっている。
受益者負担	課題有	効率的・効果的な事業展開と合わせて、今後検討すべき課題である。
事業コスト	高い	事業コスト以外に福祉会館等施設の運営管理もあり高コストである。
業務負担	軽い	業務委託により職員負担の軽減が図られている。
<b>一次評価</b>		<b>今後の実施に向けた方向性</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	各福祉会館等の施設状況を踏まえると、講座や各種教室の実施回数や募集人数は、ほぼ限界に達している。今後は、継続的に事業を実施しつつ、より効果的な事業展開に向けて、地域における活動の場の充実などについて関係機関と調整をしていく必要がある。	

**【二次評価】**

検証項目	判定	判定理由
事業の優先度(緊急性)	普通	緊急性はないが、継続して実施することが望ましい。
事業の必要性	普通	高齢者の生きがいづくりのほか、介護予防などにも寄与している。
実施主体の妥当性	課題有	事業の目的に応じて、最も適した実施主体を選択すべきである。
事業(補助)の対象	課題有	60歳以上の市民を対象としているが、65歳未満の参加が少ない。
事業(補助)の内容	課題有	地域の老人クラブ等の活動と類似した教室等の実施も見受けられる。
受益者負担	課題有	事業の安定的な実施に向けて、一定程度の受益者負担は検討すべきである。
事業コスト	高い	事業コスト以外に福祉会館等施設の運営管理もあり高コストである。
業務負担	軽い	業務委託により職員負担の軽減が図られている。
<b>二次評価</b>		<b>評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等</b>
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	各種教室等の委託事業については、市としての役割を改めて検証し、より効果的な講座・教室の事業展開を図る必要がある。施設の管理運営のため市が配置している職員と委託事業の運営のため社会福祉協議会が配置している職員がそれぞれ常駐していることから、業務実態等を踏まえ、効率化を図る必要がある。また、ゲートボール場については、利用実態の検証を行ったうえで、より効果的な活用に向けた見直しが必要と考える。	

**【外部評価】**

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

**【行革本部評価】**

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

**【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】**

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--